

地域ブランドとして商標登録を

バター餅製造の衛生管理講習会

北秋田市バター餅製造に係る衛生管理講習会が6月14日、森吉コミュニティセンターで行われ、市内の事業所や個人など60人が参加し、衛生管理などについて学習しました。

講習会は、これまで各家庭で食されたり、直売所で販売されていたバター餅が、新聞やテレビ番組で紹介されたことにより、遠方から買い求める方も急増しており、顧客の信頼を維持・蓄積するため、衛生管理の徹底を目的に開催されました。



▲講習会では、食中毒などを起こさないよう衛生管理や保存方法などを学びました

衛生管理の問題について心配される声が増えてきます。今日は北秋田保健所と秋田県総合食品研究センターの協力を得て、講習会を開催することができました。また、このバター餅を地域ブランドとするための第1弾として、商標登録を考えています。市内製造業者の皆さんが、統一した商標を使用することによって、更なる商品技術の安定化を図り、将来的には地域団体商標登録を目指し、バター餅を製造されている皆さんで組織化もできればと考えています。

このバター餅人気を今だけで終わらせることなく、多くの方々に喜んでもらえるよう市としてもバックアップしていきたい」などとあいさつ。

講習会では、北秋田保健所の永須昭夫・副主幹が、食中毒を起こさないための工程別衛生管理や保存方法、商品化した際の食品表示などについて説明。秋田県総合食品研究センターの高橋徹・主任研究員と佐々木玲・研究員が、もち米の成分や栄養品種などについて説明しました。

参加者は、バター餅作りに生かそうと、真剣な表情で聴き入っていました。

洪水対策に万全を期して

米代川・阿仁川災害復旧事業竣工式

米代川・阿仁川災害復旧事業の竣工式が6月9日、前田地区の阿仁川河川敷で行われ、国や県、市、用地提供者、工事関係者等が出席し、無事に事業が完了したことを祝いました。

平成19年9月17日に発生した豪雨災害では、阿仁川流域で総雨量250ミリを超え、死者1人、行方不明者1人、避難勧告発令約1万3000人、床上浸水230戸、農地浸水1528ヘクタール、更には河川の越水により4箇所で堤防が破堤、23箇所決壊するなど、甚大な被害を受けました。



▲関係者がくす玉を割り完成を祝った、米代川・阿仁川災害復旧事業竣工式

事業費10.4億円で五味堀地区から増沢地区までの延長28kmにわたり、増沢木戸石、米内沢、浦田大淵、阿仁前田、五味堀の5工区において、堤防を築いたり、河道の拡幅工事が行われ、平成23年度で工事がすべて完了しています。

この日、行われた竣工式は秋田県、北秋田市、能代市、国土交通省能代河川国道事務所の主催で行われ、佐竹敬久秋田県知事、津谷市長、斉藤滋宣能代市長が主催者としてあいさつしました。

その中で津谷市長は「事業の完成により、今後この阿仁川流域は、本年3月に竣工した森吉山ダムとともに、治水強化と流域環境の保全が図られました。洪水から地域住民の人命と生活が守られるという大きな安心のもとに、より一層発展させながら、未来を担う子ども達に安全安心な地域を引き継いでいきたい」などと述べました。

セレモニーでは、県の無形民俗文化財に指定されている阿仁前田獅子踊りが披露されたほか、主催者や来賓、地元前田小学校の代表児童がくす玉を開披して竣工を喜びました。

ツキノワグマ全6頭の受け入れ可能

津谷市長定例記者会見

津谷市長の定例記者会見が6月12日、市役所で開かれ、秋田八幡平クマ牧場の熊の受け入れや6月定例議会に提案予定となっている案件などについて説明しました。

秋田八幡平クマ牧場が飼養している熊について「県からの受け入れ要請に基づき、阿仁熊牧場の現状を踏まえ検討を行ったところ、ツキノワグマについては全6頭の受け入れが可能であると判断した。ヒグマについては、引き続き検討して行きたいと考えており、今後具体的協議に入りたい」と述べました。



▲定例記者会見で、八幡平クマ牧場の熊の受け入れなどについて述べる津谷市長

記念訪問団については、「7月30日から8月1日まで、同校留学生同窓会の会員とその家族など34人が当市を訪問することになった。一昨年の7月に、私も中国での同校留学生同窓会中国全国大会にご招待をいただき、たくさんの元留学生の方々とも友好を深めてきましたが、この度は元留学生の皆さんはもとより、その子ども達も15人が訪問予定です。これまで長らく育んできた友好交流を次世代につなげていくための第一歩として、今後は人的交流のみならず、経済活動や観光分野を含めたあらゆる交流を行うっていくためのきっかけにしていきたい」と説明しました。

東日本大震災被災地のがれきの受け入れについては「岩手県のがれきに含まれる放射線量はこちらとほぼ変わらないレベルのものであると確認し、現在受け入れを前提にスケジュールを検討している。今後、地域住民や議会に対するよりきめ細やかな説明や対策が必要と考え、それには概ね5か月ほどの期間が必要になると見込まれることから、最終的な判断を年内中には行えるように進めていきたい」と述べました。

市長ダイアリー

◇5月16日～6月15日

- 5月16日(水)▽秋田県森と水の協会理事会(秋田市)
- 17日(木)▽第160回東北市長会総会(仙台市)
- 18日(金)▽米代川重要水防箇所合同巡視(米代川前山水門前)▽平成24年度鷹巣町議会議員OB会総会(むらかわ)
- 19日(土)▽秋田内陸線「のりものまつり」(阿仁合駅前)
- 22日(火)▽大館能代空港利用促進協議会平成24年度定期総会▽大館能代空港ターミナルビル(株)取締役会(同ビル)▽北秋田市鷹巣自治会長連絡協議会平成24年度通常総会(交流センター)
- 23日(水)▽平成24年度第1回秋田県市町村協働政策会議(秋田市)
- 24日(木)▽米代川治水期成同盟会ほか2期成同盟会平成24年度合同総会(能代市)▽北秋田職業訓練協会第43回通常総会(中央公民館)
- 25日(金)▽北秋田市民病院運営協議会(北秋田市民病院)
- 28日(月)▽北秋田地域振興局との意見交換会(本庁舎)
- 29日(火)▽秋田県森と水の協会平成24年度通常総会(秋田市)
- 30日(水)▽平成24年度北秋田市日沿道あきた北空港～二ツ井白神間建設促進期成同盟会総会(ホテル松鶴)▽第3回医師不足・偏在改善計画策定部会(秋田市)
- 31日(木)▽市民提案型まちづくり事業審査会審査員委嘱状交付式(本庁舎)
- 6月2日(土)▽平成23回全国「みどりの愛護」のつどい(秋田市)
- 3日(日)▽平成24年度北秋田市水防訓練(鷹巣橋下流河川敷)▽第28回ふるさと踊りと餅つきまつり(駅前・銀座通り)
- 4日(月)▽秋田県合併浄化槽普及促進協議会総会(本庁舎)
- 5日(火)▽第8回水害サミット(東京都)
- 6日(水)▽第82回全国市長会議通常総会(東京都)
- 7日(木)▽第1回秋田内陸地域公共交通連携協議会総会(阿仁山村開発センター)
- 8日(金)▽第5回ケアタウンたかのす「植樹祭」(ケアタウンたかのす)▽鍵ノ滝地域集約化施設モデル団地協定書締結(大館市)
- 9日(土)▽米代川・阿仁川災害復旧事業竣工式(八幡橋上流河川敷)
- 12日(火)▽定例記者会見(本庁舎)▽平成24年度北秋田市土地改良区連絡協議会総会(ホテル松鶴)
- 14日(木)▽北秋田市バター餅製造に係る衛生管理講習会(森吉コミュニティセンター)